

「年金業務システム共通運用管理業務」の意見招請に係る回答について

令和8年4月
日本年金機構
システム運用部 年金業務システム運用グループ

項番	仕様書の該当箇所		意見等内容	回答
	対象資料	章番号等		
1	調達仕様書	5.2 本調達受託者の体制	「表 5.2-1 本調達受託者体制」の「運用管理要員 運用業務」において、「5. バッチを適用する場合は、公開されている情報を元に検証環境にて適用手順書を作成し、手順書の検証を実施する。」と記載がございます。「別紙5-1 関係事業者との役割分担」を踏まえると、公開されている情報を元に各保守事業者が手順を作成し、その内容を必要に応じて修正したものをを用いて検証環境に適用・検証するものと理解しております。認識齟齬はございますでしょうか。	本件に関しては、ご質問のとおり「公開されている情報を元に各保守事業者が手順を作成し、その内容を必要に応じて修正したものをを用いて検証環境に適用・検証する」を原則としております。しかしながら、本調達受託者に手順書をゼロから作成いただくこともあります。
2	調達仕様書	5.3 管理体制	「(10)本調達受託者の都合により要員を変更する場合は、原則、月の1日、15日に行うものとし、それぞれ前述(5)に従い事前に機構へ届け出ること。」と記載がございます。当該参画日については調整可能でしょうか。	本件に関しては、原則として、体制の変更は1日、15日に実施いただく設定としています。参画可能日については、機構の受け入れ準備や、申請内容によっては承認までの期間が変わってくることから、申請時にご相談いただく事を想定しています。質問の背景として緊急時など最短で要員を参加させたい場合を想定しているのであれば、個々の事情は考慮いたします。
3	調達仕様書	5.4 要員に求める資格等の要件	「5.4.2 統括責任者以外の者」の「(1)品質管理責任者」において、「以下の①～④の要件を満たす者を配置すること。」と記載がございますが、本要件を満たした要員を確保するのは困難であり、競争性の低下を招く要件設定であると考えます。「以下のいずれかの要件を満たす者を配置すること」や「同等の実績を有すること」に緩和いただけないでしょうか。 ①情報処理の促進に関する法律(昭和45年法律第90号)に基づき実施される情報処理技術者試験のうちプロジェクトマネージャ試験又はシステムアーキテクト試験の合格者。 ②技術士(情報工学部門又は総合技術監理部門(情報工学を選択科目とする者))の資格を有する者。 ③PMP(Project Management Professional)の認定者。 ④品質管理に関する実務経験を5年以上有する者。	本件のご要望に関して、参入障壁を下げるべく緩和措置を検討いたします。
4	調達仕様書	5.4 要員に求める資格等の要件	「5.4.2 統括責任者以外の者」の「(3)運用管理者」において、「②以下のいずれかに該当する資格を有する者であること。」と記載がございますが、「5.4.1 統括責任者」の「④以下のいずれかに該当する資格を有する又はこれらの試験合格者、資格保有者と同等の能力を有することが経歴等において明らかであること。」と同様に「又はこれらの試験合格者、資格保有者と同等の能力を有することが経歴等において明らかであること。」を追記いただくなどして要件を緩和いただけないでしょうか。	本件のご要望に関して、参入障壁を下げるべく緩和措置を検討いたします。
5	調達仕様書	5.4 要員に求める資格等の要件	「5.4.2 統括責任者以外の者」の「(3)運用管理者」において、「④情報システムの監査又は情報システムのセキュリティに関するヒアリングを受ける立場で、いわゆるセキュリティチェックシートの作成に3年以上かつ50案件以上携わった経験があること。」と記載がございますが、本要件を満たした要員を確保するのは困難であり、競争性の低下を招く要件設定であると考えます。要件を緩和いただけないでしょうか。	本件のご要望に関して、参入障壁を下げるべく緩和措置を検討いたします。
6	調達仕様書	5.4 要員に求める資格等の要件	本調達は、R9.1情報連携更改の稼働開始と同時に運用開始であり、初回から過去ナレッジのない運用業務を行う必要があることから、2026年10～12月の運用準備期間から更改事業者と仕様等の調整や積極的なコミュニケーションを行った上で更改事業者からの引継ぎを直接受けていくことが重要と考えています。また、役務期間中に運用管理を行うすべてのサブシステムのシステム更改の設計・開発期間が輻湊するなかで、適切なタイミングで運用設計への提言、システム課題の要件化調整などが必要と考えています。 上記のことから、「5.4.1 統括責任者」において、本調達を推進する統括責任者の現状記載の要件に加えて、「過去5年以内に本案件と同等規模以上であり、システム運用を行いながら、運用しているサブシステム等の更改に対する運用受け入れを実施してきた実績を有すること。」を追加してはいかがでしょうか。	本件のご意見に関して、調達仕様書への追記を検討いたします。
7	調達仕様書	5.4 要員に求める資格等の要件	現場の運用管理者についても統括責任者同様に実績を有していることが重要と考えております。ついては、「5.4.2 統括責任者以外の者」の「(3)運用管理者」において、「システム運用を行いながら、運用しているサブシステム等の更改に対する運用受け入れを実施してきた実績を有すること。」を追加してはいかがでしょうか。	本件のご意見に関して、調達仕様書への追記を検討いたします。
8	調達仕様書	8.1.2 受託実績	「(1)過去5年以内に受託業務と同等規模以上のシステム運用管理・ヘルプデスク業務を行った実績を1年以上有する事業者であること。」と記載がございますが、「システム運用を行いながら、運用受け入れを実施してきた実績を有すること。」を事業者の受託実績に追加してはいかがでしょうか。 また、システム運用は定義された役割にしたがった運用を実施することは当然ですが、運用時に検知した課題や問題点に対する改善活動を行っていくことが重要と考えます。 課題・改善事項の検知は運用を長期間継続したことで得たより深い洞察によって検知できるものもあるため、運用管理の実績を1年ではなく、3年とするのはいかがでしょうか。	本件のご意見に関して、調達仕様書への追記を検討いたします。
9	別紙5-1 関連事業者との役割分担表	項番88	「仮想基盤環境へのサーバ追加のヒアリングシート作成」の作業内容欄に「仮想基盤環境へのリソース増強に伴いIAサーバが追加される際、追加調達したIAサーバを、各環境へ追加するための情報について開発事業者、納入保守事業者がヒアリングシートを記入する。」と記載がございますが、本調達受託者は「◎」ではなく、「○」ではないでしょうか。	本件のご質問ですが、本調達受託者はヒアリングシートを作成し、各事業者に記入を依頼します。本調達受託者がシートを作成するので「◎」にし、作業内容欄にその旨記載しておりましたが、ご指摘のとおり、作成と記入が誤って受け取られる可能性があるため、作業項目を「シート(フォーマット)提供」と「シートへの記入」に分割し、本調達受託者の「シート(フォーマット)作成」を「◎」、「シートへの記入」を「○」に修正いたします。
10	別紙5-1 関連事業者との役割分担表	項番441	「ウイルス検知時遮断(物理抜線が必要な場合)」の作業内容欄に「ウイルス検知時に遮断する。(サーバ特性や検知後の隔離成否に応じて対応。)物理端末については端末運用管理事業者が対応する。」と記載がございますが、本業務受託者運用範囲である、「運管作業端末」等に対しても端末運用管理事業者が対応する想定でしょうか。	本件のご質問ですが、ご指摘のとおり「運管作業端末」等は本調達受託者が実施しますので、以下のように変更いたします。 端末運用管理事業者の「◎」を「○」に修正し、作業内容欄の「物理端末については端末運用管理事業者が対応する。」を削除いたします。 ※項番446も同様

項番	仕様書の該当箇所		意見等内容	回答
	対象資料	章番号等		
11	別紙5-1 関連事業者との役割分担表	項番468～475	本調達では、コミュニケーション管理ツールの運用業務として、ユーザID等管理、ユーザアクセス権管理等の作業が予定されています。現行事業者から運用引継ぎを受けて実施と理解していますが、コミュニケーション管理ツールのライセンスは貴機構にて準備される認識でよろしいでしょうか。	本件のご質問ですが、コミュニケーション管理ツール(現状はkintoneを利用中)のライセンスは本調達受託者で準備いただく認識となります。要件定義書側に記載しておりましたが、脱字がございましたので脱字の補完とともに、情報追加を実施いたします。 「4.2.3 コミュニケーション管理」の項目にて、 変更前 「コミュニケーション管理ツールの管理、運用、改修、手順書作成及びライセンス管理も盛り込むものとする。」 ↓ 変更後 「コミュニケーション管理ツールの管理、運用、改修、手順書作成及びライセンス管理費(200ライセンスの利用料を想定。ライセンスの管理作業自体も含む)も盛り込むものとする。なお、ライセンスの種類等は機構と協議の上で決定する。」 に修正いたします。
12	別紙6 サービスレベル設定項目	No.1～3	ヘルプデスク関連のSLAの「対象環境」欄に「全環境」と記載がございますが、ヘルプデスク業務における本番環境以外の環境は何を想定されておりますでしょうか。	本件のご質問ですが、「開発管理<環境>」の観点で記載したため、環境と記載しておりましたが、正確には「全システム」が正しい記載のため、「全環境」を「全システム」に修正いたします。
13	別紙12 フェーズ2に関連した本システム改修に伴う作業内容一覧	該当なし	フェーズ2の作業が諸々記載されておりますが、テスト接続先変更やデータ抽出等、作業内容を確認すると一般的な非定常業務に見受けられます。フェーズ2システム対応では記載以上の役務が想定されるのでしょうか。また、記載以上の作業が発生する場合は、機構と協議の上で実施するといった記載に変更いただけないでしょうか。	本件はご質問のとおり、「一般的な非定常業務」の範疇であり、記載以上の役務を想定していないため、別紙12は削除の上、「非定常業務としてフェーズ2などの支援依頼があった際に機構と協議の上で対応を実施すること。」に調達仕様書の記載を修正いたします。
14	該当なし	該当なし	貴機構のシステム企画部システム総合調整Gより発出されている「パンチ委託のインハウス化に伴う新たな届書データ化システムの構築・保守業務」案件資料を拝見しました。「本調達案件で運用管理するデータエントリシステム」は、システム総合調整G発出案件にて改修などが行われ、改修後は運用管理対象となる認識で相違ないでしょうか。	本件のご質問ですが、現状ではデータエントリのリリース対応と同程度の対応が想定されています。ご質問を受け、「データエントリの新機能追加等があった際に機構と対応内容を協議の上で対応を行うこと。」に調達仕様書の記載を修正いたします。